いなわしろ

議会だより

No.184
令和8年10月30日
発行：福島県猪苗代町議会



町民栄誉賞　第１号！
鈴木　猛史　氏

令和８年９月定例会・臨時会

あらまし …… 2
予算決算審査特別委員会・監査委員の意見 …… 4
予算決算審査特別委員会・議案審議・人事案件 …… 6
臨時会 …… 8
一般質問目次・議長杯結果 …… 10
一般質問 7人が登壇 …… 11
委員会レポート・広域議会報告 …… 18
わたしたちの町（猪苗代中学校） …… 20

議会だより

マチイロのご利用は下の QR コードから
マチイロ
App Store　Google Play

福島県 耶麻郡 猪苗代町 字城南 100 番地
https://www.town.inawashiro.fukushima.jp/

令和７年度 決算を認定

９月定例会

あらまし

９月定例会は、９月１日から11日まで開催されました。

町長から提出された議案は、専決処分の報告１件、令和７年度決算認定４件、令和８年度補正予算10件、条例の制定１件、条例の一部改正１件、人事案件１件、財産の取得１件であり、すべて原案のとおり、認定・可決・同意しました。

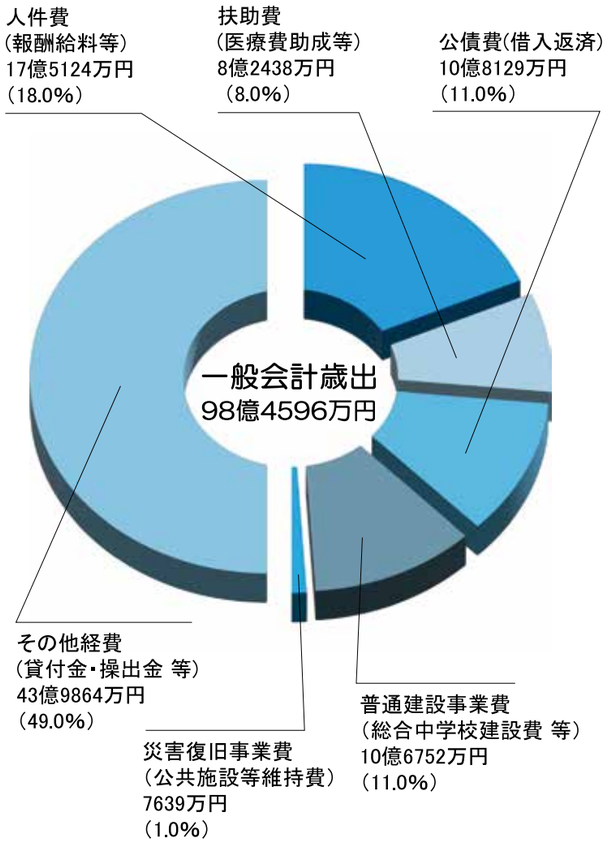
一般質問は７人の議員により行われました。

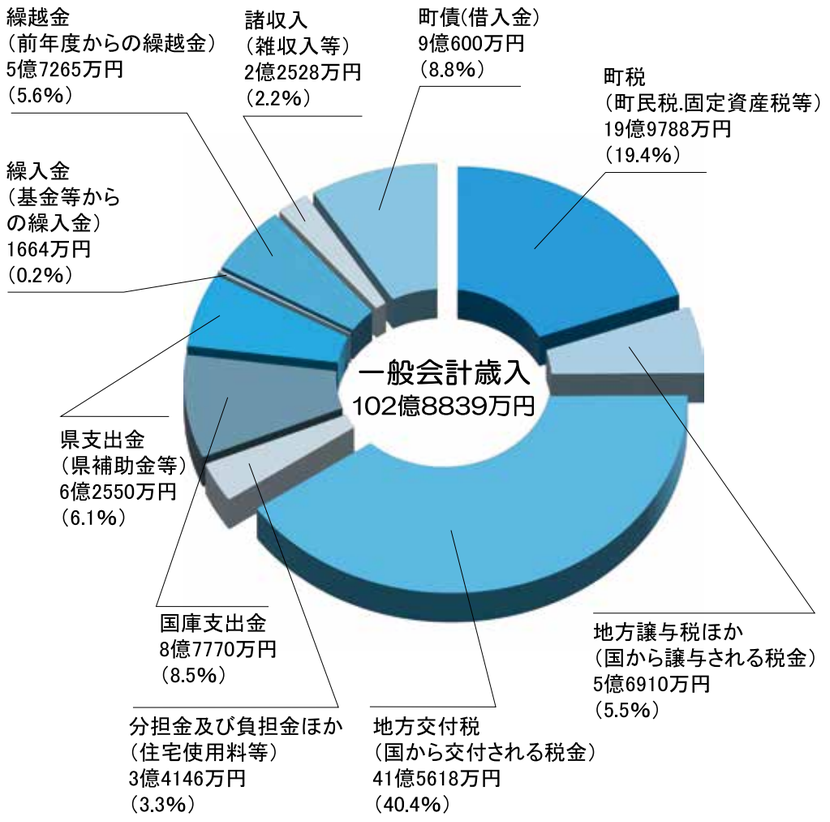


町民一人当たり
817,296 円を
使いました
（前年比 98,919 円減）

議　会　費	7,966 円
総　務　費	156,437 円
民　生　費	135,979 円
衛　生　費	62,269 円
農林水産業費	55,215 円
商　工　費	41,773 円
土　木　費	118,882 円
消　防　費	37,866 円
教　育　費	111,152 円
公　債　費	89,756 円

※令和8年3月末人口12,047人で算定





令和７年度末 町債 残高

一般会計79億8683万円（前年比 1億4230万円減）

※町債→大きな事業をするために借り入れるお金のこと。

区分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
財政力指数	0.370	0.373	0.370
経常収支比率	90.5	91.0	91.5
実質公債費比率	9.7	9.5	9.7
将来負担比率	14.4	27.5	28.6

財政力指数とは？

１に近く１を超えるほど財源に余裕があるとされている。

経常収支比率とは？

財政構造の弾力性を判定する基準で、７５％以下が望ましいとされている。

実質公債費比率とは？

歳入に対する公債費の占める割合で、２５％で早期健全化に該当するとされている。

将来負担比率とは？

一般会計の負債が一般会計の標準的な年間収入の何年分であるかを表す割合で、３５０％で早期健全化に該当するとされている。

令和７年度　会計別決算額

会計		歳入決算額	歳出決算額
一般会計		102億8838万円	98億4596万円
特別会計	国民健康保険	14億4284万円	14億2050万円
	後期高齢者医療	2億4429万円	2億4358万円
	介護保険	19億252万円	18億7337万円
病院会計	収益的収支	9576万円	1億92万円
	資本的収支	614万円	614万円
水道会計	収益的収支	4億1225万円	3億2821万円
	資本的収支	7802万円	2億7420万円
下水道会計	収益的収支	6億4416万円	6億6964万円
	資本的収支	2億5744万円	4億5029万円

※単位未満の端数切り捨て。
※財産区特別会計の決算額については省略。

議長を除く11人の委員で、令和7年度決算を4件、令和8年度補正予算10件を審査しました。

令和7年度決算【主な質疑】

一般会計

歳入

《町税》

問　固定資産税の収入未済が非常に大きいが理由は。

答　観光関連事業者が高い割合で未収金となっている。

問　町民税の個人分の補正額が増額になった理由は。

答　令和7年度の所得額を割合でみると、1番多いのが給与所得で74・7％、次に年金所得が11・4％、農業所得が7・5％と全体の93・6％を占めている。前年対比増の主な理由は、農業所得が6ポイント増、給与所得が3・6ポイント増が要因と考えている。

歳出

《総務費》

問　ふるさと納税事業の広告料270万円の効果は。

答　1億5千万円以上のふるさと納税の寄附をいただいた。今後も広告を活用して納税額の増額に努めたい。

問　交通安全対策費の報償費で免許返納者が68名との記載がある。実際に使われる商品3つの内訳は。

答　令和7年度の高齢者運転免許自主返納事業の利用券の内訳は、バスが2万円、タクシー券が43万1千円、商品券が158万9千円である。

《地方消費税交付金》

問　地方消費税交付金が10％も増額になった要因は。

答　国から県へ払い込まれた地方消費税の増収があったものと捉えている。

問　企画費の弁護士委託事業で結果的に7年度でスキー場が再開できない状態だが、十分に説明されているのか。

答　実績としては、7年度は新会社の設立に関する業務、設立登記、更には関係者との調整、司法書士や会計士との調整等も行ってもらっている。また、債権者との交渉ということで、事業譲渡、資産譲渡、運営の委託契約等々も進めていただいている。資産負債の調査や洗い出しも行っていただいた。



再開をまたれる箕輪スキー場

《民生費》

問　紙おむつ支給で7年度に2歳から3歳に拡充され、毎月3千円分の紙おむつ券を渡しているが使用率は。

答　6年度は759名、月平均で76名。7年度は、3歳まで拡充したこともあり、1千305名、月平均で109名である。

《衛生費》

問　不妊治療の助成金事業が7年度から新設されたが、実績は。

答　不妊治療は3件で、合計9万6540円。内容は、先進医療が1件、不妊症の検査が2件である。

《農林水産業費》

問　ブランド化・地産地消推進費で様々なイベントに出展しているが成果は。

答　様々な物品を持ち寄り、首都圏の方々にPR出来た部分が成果であると考える。

問　福島大学の農学プログラム連携事業は成果が出そうな事業としての取り組みを大学がしていただいているのか。また、今後どのように臨んでいくのか。

答　若い視点で学生たちが町内に入り、町のフォトコンテスト、そばのPR動画の作成等々で学生ならではの視点を活かしたことが行えた。一方、反省点として、単年度で終わるような形になっていたため、今年度より継続して1つのテーマを持ち、5年たった時には成果を上げられるような形へやり方を変えた。



鳥獣害対策電気柵ツアー

令和7年度 一般会計決算等の意見（抜粋）

【審査の対象】

令和7年度の一般会計及び特別会計（7会計）の歳入歳出決算と、公営企業会計である病院事業会計、水道事業会計、下水道事業会計の決算について審査した。

審査事項の主な内容とその意見については、以下のとおりである。

【決算の規模】

一般会計が前年度比で歳入8.4％、歳出10.4％それぞれ増加、特別会計では前年度比で歳入1.3％減少、歳出0.2％増加した。

また、病院事業会計は、事業収益が前年度比7.5％の増、事業費用が前年度比9.0％の増となり、水道事業会計は、事業収益が前年度比9.6％の増、事業費用が前年度比5.3％の増となり、下水道事業会計は、事業収益が前年度比3.6％の増、事業費用が前年度比3.1％の増となった。

【町　　債】

前年度末と比べて一般会計が1億4230万5千円の減となった。公共事業債をはじめとした各種事業債で減少したが、一般単独事業債、過疎対策事業債が増加となった。

【基　　金】

財政調整基金に4億3992万3千円、森林環境譲与税基金に1375万6千円を積み立てた。教育施設整備等基金は1104万5千円を積み立て、小学校長寿命化工事や教育委員会所管食器洗浄機購入等に係る財源措置として1408万円を取り崩した。また、定額運用資金に係る土地開発基金は、令和7年度中に44万7千円の増があり、1億8916万6千円となった。この結果、令和7年度末現在高は5億2350万3千円増加し、34億130万1千円となった。

【意　　見】

審査に付された決算書及び報告書はいずれも関係法令等に基づいて作成されており、会計経理は正確である。また、予算の執行についても有効適正になされているものと認められた。

なお、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政健全化審査については、実質公債費比率、将来負担比率ともこの基準において本町は「健全段階」に位置付けられる。

今後も一層の財政の健全化に努めながら、町民福祉の増進に向けた取組みがなされるよう望み、審査の意見とする。

監査委員　佐　賀　要　一
監査委員　山　内　浩　二

《商工費》

問　宿泊予約サイト割引クーポン事業で7年度から1社追加され、2社となったが、6年と7年を比較した町の考察は。

答　選択肢が広まったことにより、裾野を広げる意味でかなり効果的であり、前期は104％の増、後期は107％の増と実績にも表れている。

問　観光周遊バス、ひでよくん号の状況は。

答　7年度は利用者が3千338名、6年度は2千710名である。

問　風評被害対策費の町教育旅行支援事業の現状は。

答　7年度は延べ3万6千391名、293校。少子化の波が全国的に及んでおり、産地間競争が激しくなっている。事業があることにより、猪苗代を選んでいただける選択肢の1つとして、強力な事業と捉えている。

《土木費》

問　猪苗代町道路愛護事業の内容は。

答　各行政区に町道、県道等の維持管理をしていただいており、申請に基づいて交付をしている。

問　内水浸水想定区域図策定業務で危険個所が示された。今後予算化し防災対策がなされると理解してよいか。

答　防災対策も含めた下水道の修繕対応を検討し、実施したいと考えている。

《教育費》

問　猪苗代小学校の体育館の工事は天井のみの修繕か。

答　釣り天井以外に防球ネット音響設備等も交換した。

問　猪苗代小学校の体育館のエアコン設置の検討は。

答　エアコンは今回の工事では見ていなかった。今後計画的に整備していきたい。

令和8年度補正予算

【主な質疑】

一般会計 歳入

《町税》

問　町税個人分で補正額が8千万円を超える要因は。

答　当初予算でも増額計上をしたが、今般、給与所得額が68・5％で約1億669万円増。農業所得が15％で約16億5538万円増。年金所得が11％で約1億3960万円増と予想を上回る各所得が増えたため。

《地方交付税》

問　交付税の増額の理由は。

答　普通交付税本算定の段階で市町村民税、農業所得の増加が大きく、法人税の増加もある一方で人口減による算定経費の減少もあり、合計で2億1135万4千円の増額補正を計上した。

《総務費》

問　ガーナの締結に向けて、当初予算では具体的な内容がなく、なぜ今回補正補正予算で計上したのか。また顕彰事業は。

答　当初予算は、式典開催の経費程度の予算を計上した。8月に次期大使の訪問を受け、具体的な費用負担、日程、式典に出る人数が分かり補正を計上した。

また、野口英世博士の顕彰では、猪苗代高校生の2名がガーナに行き交流もあった。町としても顕彰事業をガーナと共に進めていきたい。

問　町民栄誉賞で受賞者が決定しているような予算計上の仕方だが、どのような考えか。

答　町長から町民栄誉賞に値する方1名に賞を与えたいとの話があり、今般、条例と予算を計上した。

問　徴税費の委託料でなぜマル公納付書が必要なのか。

答　町外や要望のあった方に通常と郵便局の納付書を送付している。マル公納付書は1枚で郵便局や各金融機関で納入が可能で、9年度当初から納付書の発送に対応するため、今回システム改修が必要となる。

問　会計管理費の委託料で電子送信とあるが、町側からの提案か。

答　町と金融機関双方の事務効率化を図ることを一番の目的とし、金融機関様からお声がけいただき、町としてもDXを推進したいという考えのもと補正予算を計上した。

《衛生費》

問　母子保健費の扶助費の内容は。

答　遠方の施設で妊産婦等が受診する必要がある方が対象となる。今回の改正により遠方の施設での産後ケアの利用及び乳幼児健診の受診に係る交通費が新たに助成対象として追加、利用者自己負担分助成の追加となった。

《農林水産業費》

問　ジビエ利活用で現在決まっていることは。

答　西会津町で処理場を建設する予定で、構成市町村には、熊、猪、鹿の3種類を持ち込んでいただきたいと要請を受けている。当町では、猟友会の了解の部分もあり協力の表明はしていない。また、搬入の方法等もジビエ部会で検討している。

問　ニホンジカの捕獲報奨金が要綱改正に追加ということだが詳細は。

答　7月28日付の通知でニホンジカも対象となり、1頭あたり1万3千円の補助金。



《教育費》

問　こども園の備品購入の内容は。

答　こども園で保育ICTシステムを導入する際に各クラスにタブレットを1台配備したが、タブレットの数が不足している。また、午睡中、薄暗い中での作業をするため、より画面が大きいノートPCを10台購入したい。

議案の審議

「猪苗代町町民栄誉賞条例」

本町の住民又は本町にゆかりの深い個人・団体で学術、芸術、文化、スポーツ、著述等で各種の賞を受賞するなどの業績を達成し、全国的に認知されるものに対して授与する条例。

【主な質疑】

問　当初ではなく、なぜ今の時期になったのか。

答　町民栄誉賞の目的に合った方を推薦したく、今次条例の上程をした。

問　受賞者の推薦の方法は。

答　推薦は町長が行い、委員会に諮問し、委員会で表彰者にふさわしいか審議し、町長にその意見を具申する。

「特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」

猪苗代町町民栄誉賞条例の制定に伴い設置する審査委員会の委員報酬を規定するため改正する。

【主な質疑】

問　誰が推薦し、委員会を招集するのか。

答　委員の詳細は規則で定める予定であるが、町長が委員を任命する。

「令和8年度猪苗代町一般会計補正予算（第3号）」

反対討論!!

【大高　佐代美】

野口博士の偉業を称え、つなげることは今までも行っている。当初予算で示さずに、短期間で決める軽々しい事ではない。また、町民栄誉賞の制定には反対しないが、受賞者が確定しない中で授与式に係る補正があがっている。架空のものに予算を上げることに対して、町民への説明もできないため反対。

【渡辺　真一郎】

町民栄誉賞は、非常に選定基準が曖昧である。また、ガーナとの友好は時期尚早であり反対。

【五十嵐　ミエ子】

経済が冷え込み、更に物価高騰で町民の暮らしが大変である。限られた予算をより町民生活に直結する施策へあてるべきである。表彰条例があるため新たな条例を増やさなくとも対応できるため、反対。

反対討論!!

【五十嵐　ミエ子】

この町民栄誉賞は、特定の個人の功績を評価し、誰を対象とするのか、基準が主観的になってしまう場合があり、町民や団体との間で評価の不公平が生じ、不平や対立をまねく可能性があると考え反対。

【審議した議案と可決状況】

件　名	1 長友海夢	2 山内浩二	3 大高佐代美	4 渡部一登	5 星野あけみ	6 瀧田勝昭	7 渡辺真一郎	8 五十嵐ミエ子	9 後藤公男	10 関沢和人	11 鈴木元	12 長澤操	結果
令和8年度猪苗代町一般会計補正予算（第3号）	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	議	可決
令和8年度猪苗代町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	可決
猪苗代町町民栄誉賞条例	○	○	○	○	○	欠	×	×	○	欠	○	議	可決
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁済等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	欠	×	×	○	欠	○	議	可決

※賛成「○」、反対「×」、議長「議」、欠席「欠」、同数の場合には議長が採決に加わる。

猪苗代町教育委員会委員の同意

「猪苗代町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて」
佐藤信一氏を適任と認め、全会一致で同意しました。
任期は令和１２年９月３０日。

佐藤　信一 氏
（西久保）



臨時会（7月22日）

あらまし

令和8年第5回臨時会が開催されました。

町長から提出された議案は、一般会計補正予算1件、工事請負契約の締結1件、財産の取得1件で、すべて原案のとおり全会一致で可決しました。

「令和8年度猪苗代町一般会計補正予算（第2号）」

【主な質疑】

問　商工費の4事業の財源措置は。

答　ふるさと商品券発行事業及びプレミアム食事券発行事業は国からの交付金。中小企業経営長期安定資金利子補給金及び信用保証料と観光誘客補助金は一般財源である。

問　事業費に対する国の交付割合は。

答　ふるさと商品券発行事業が19・2％、プレミアム食事券発行事業が49・1％である。

問　観光振興対策費でセプテンバージャムに追加で100万円の補助金だが、総額は。

答　当初、オハラ☆ブレイクのイベントに200万円の補助金を計上した。今回、風とロックが2日間、町内での芸術祭が44日間開催となる。当初の200万円に今回100万円を追加し、合計で300万円である。

問　町内各所への回遊性向上やリピーターの来訪を促進し、町中の賑わいの創出や経済効果の拡大を図るとあるが、詳細は。

答　町内周遊バスや、中央商店街をメインに町内各所にアート展示を行い、数カ所回るとノベルティーがもらえるスタンプラリーを計画している。その他にも、世界的に有名な奈良美智さんの芸術作品を展示させていただくなど、44日間の期間で何回も猪苗代にお越しいただくような計画で進めている。

問　ふるさと商品券がハガキによる応募、抽選販売になった経緯は。

答　プレミアム率が高く、人気がある。電子でできないか商工会等と相談したが、既存の往復はがきでの抽選を希望された。今後は、電子化も可能であれば検討していく。

問　猪イートは前回まではチケットを配っていたと思うが、紙の使用と考えてよいか。

答　利用者の方から、500円はお釣りが出ない。電子では1円単位で使える。利用店舗からは、精算に時間がかかるとの意見が多数あり、猪イートは電子の考えで進めている。

問　デジタル化ということだが、高齢者が猪苗代町には40％以上いるが、どう捉えているのか。

答　名刺サイズのQRコードがあり、それを持っていれば、お店で直接決済できる優しい制度設計となっている。また、発行事業者は期間中、土日・祝日も含めて、8時30分から18時まで毎日、相談窓口を設けるよう準備を進めており、全町民に使いやすいよう対応を行う。



猪苗代電子クーポン

問　商工業金融対策事業費の安定利子補給金及び信用保証料は融資目的は問わず、100％の利子補給金という形でよいのか。

答　設備投資の資金、その他運転資金なども含めて、広く使っていただける資金である。

議会報告会　地域におじゃまします

お住まいの地域以外の報告会に参加いただくこともできます。

○　吾妻地区　日時：11月13日（金）18時00分から
　　場所：樋ノ口多目的集会所

○　月輪地区　日時：11月14日（土）18時00分から
　　場所：月輪地区コミュニティーセンター

○　翁島地区　日時：11月19日（木）18時30分から
　　場所：翁島地区コミュニティーセンター

○　長瀬地区　日時：11月20日（金）18時30分から
　　場所：猪苗代町川桁防災センター

詳細は、町ホームページ等で後日お知らせします。

～請願・陳情の手続きについて～

どうやって出すの？

請願・陳情書はいつでも提出できます。

日本文で

1.提出年月日
2.請願者・陳情者の住所
3.請願者・陳情者の氏名
　（法人の場合は「名称」「代表者氏名」）
4.請願者・陳情者の電話番号
5.紹介議員名(請願のみ。陳情は不要)
6.請願・陳情の趣旨

を記載し、「押印」のうえ議長宛に提出して下さい。

なお、必要に応じて現場の案内図、現場写真、意見書(案)などを添付してください。

請願書・陳情書の様式に決まりはありませんが、記載例などをホームページに記載しています。

熊本地震に係る義援金

このたびの令和８年熊本地震により、犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。

猪苗代町議会議員会では、被災された方々へのお見舞いと、被災地の方々の生活を支援するため、令和８年８月20日に日本赤十字社福島県支部会津地区猪苗代町分区を通じて、義援金10万円をお贈りいたしました。

一日も早い被災地の復旧・復興を、心よりお祈り申し上げます。



議員会より義援金を寄附

一般質問
町政を問う

○○○ 主な質問事項 ○○○

大高　佐代美 ……⑪
子育て支援と少子化対策

五十嵐　ミエ子 ……⑫
道路行政

渡辺　真一郎 ……⑬
地方創生人材支援制度

後藤　公男 ……⑭
幼児、児童、生徒の交通事故防止対策

瀧田　勝昭 ……⑮
観光事業の現状

長友　海夢 ……⑯
猪苗代高校の地域みらい留学の現状と今後

山内　浩二 ……⑰
子供屋内遊び場整備

一般質問とは？

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をただすこと。
本町の質問時間は、答弁を含め６０分以内で１問１答方式である。

Youtube配信中！

猪苗代町議会は、スマートフォン等端末での閲覧ができるよう、YouTubeによる配信をしています。
各ページのＱＲコードをご利用ください。Wi-Fi環境での利用をお勧めします。

※この音声は猪苗代町議会の公式記録ではありません。



おおたか　さよみ
大高 佐代美

動画はこちら

Q.「こども誰でも通園制度」の登録者状況は
A.７名で、実際の利用者は３名



【質問】こども誰でも通園制度の利用方法は。

【こども課長】１回の利用が２時間、月５回までの利用が可能である。

【質問】多くの方に利用してもらうために条件を見直すべきでは。

【こども課長】１回当りの時間が短いと聞いている。今後は、利用しやすいように検討を重ねる。

【質問】こども園での今後の取り組みは。

【こども課長】新たに、こども園に併設している子育て支援センターの充実を図る。具体的には、日向ぼっこと連携し、子育てサロンを実施し保護者の交流、相談の場と子どもたちの遊びを提供していく。

【質問】子育て支援は充実していると考えるが、少子化に歯止めがかからない現状をどう捉えているのか。

【保健福祉課長】子育てを取り巻く環境が変化し、経済的・人的な直接支援だけでは解決できないと考える。そのため、ライフステージに応じた切れ目のない支援と本町に住み、出産し、育てたいと感じられる環境作りのために、多面的な取り組みを実施していく必要がある。

【質問】学びの選択として、教育移住を考える方も増えている。町の考えは。

【教育長】教育移住という流れを的確に捉え推進していくには、子育て支援策、教育環境の特色、移住定住の施策が一体となる必要がある。

Q.町立病院の一部外来休診の回復は
A.現在、目途は立っていない

【質問】９月から、町内の開業医が町立病院で診察することになった経緯は。

【保健福祉課長】現在、医師不足が深刻な問題となっている。そのような中で、町内の医療機関の協力を得て、町立病院の医療充実を図るため、共同型診療（オープンシステム）を取り入れていくことになった。

【質問】温知会が運営を開始して20年経過する。この間に取り巻く環境や病院の経営状況は変化していると推察されるが、継続への現況は。

【保健福祉課長】医療資源の不足、人件費の上昇など病院事業の経営環境は厳しい現状であるが、持続的な地域医療を図っていくためにも欠かすことはできない。そのためにも次期協定を締結するにあたり協議を重ねている。



２０年目を迎える町立病院

議長杯グラウンドゴルフ大会

8月21日、小雨の中25名が参加し開催されました。結果は次のとおりです。（敬称略）
【男子の部】1位 田崎弘夫、2位 服部恒夫、
3位 伊藤信明、4位 村澤豊、5位 渡部昭一
【女子の部】1位 長命キミ子、2位 晴山洋子、
3位 小池亜子、4位 櫻田モト、5位 渡部久實子



第16回議長杯グラウンドゴルフ大会

議長杯ソフトボール大会

9月6日、7チームが参加し開催されました。
優勝は「Hボンバー」
準優勝は「四ツ谷フレンズ」
3位は「SPキング」です。



優勝した「Hボンバー」チーム

議長杯ゲートボール大会

9月30日、4チームが参加し開催されました。
優勝は「小澤チーム」
準優勝は「宇南山チーム」です。



第39回議長杯ゲートボール大会



いがらし
五十嵐ミエ子

動画はこちら

Q. 町道の今後の整備計画は
A. 生活環境の改善のため、進めてまいりたい

【質問】町道で舗装されていない道路は。

【建設課長】町道路線数は３６８路線、延長すると23万２５７０・８メーター。そのうち、１２９路線、延長にすると４万６６０１・３メーター、全体の20％が舗装されていない。

【質問】猪苗代小学校から送迎バス停までの通学路の安全確保は。

【建設課長】老朽化した北側の側溝であるが、より安全に通学できるよう北側の側溝整備を行ってまいりたいと考えている。



拡幅されていない打越周辺

【質問】第二小学校の三城潟西舘線の町道は、打越から学校までの短い区間が整備されていないが都市計画整備は。

【建設課長】計画は、国道１５号線打越から第二小学校の前を通り旧１５号線、堅田五百苅線までの区間が都市計画道路で整備を予定している。

【質問】道路整備が途中までとなっているが、今後の対応は。

【建設課長】用地の地権者の了解をいただくことができず、現在も休止している。引き続き拡幅工事が実現できるように努めてまいりたい。

【質問】千貫区から川上区までの未舗装の整備は。

【建設課長】以前から舗装工事の陳情をいただいている。用地等の問題で事業が進んでいない状況。関係者との調整を模索しながら、引き続き早期実現に向けて取り組んでまいりたい。

Q. エアコンの未設置施設の現状は
A. 利用の要望等に基づき、設置している

【質問】避難所になっている公共施設におけるエアコンの設置状況は。

【総務課長】指定避難所となる24施設のうち、設置してある施設は19ヶ所である。そのうち避難所スペースに設置されている施設が一部設置も含めると16ヶ所となり、避難施設ベースでの設置率は67％となる。

【質問】未設置の施設の優先順位は。

【総務課長】現在のところ、設定していない。避難所として開設頻度の高い猪苗代町農村環境改善センターのホールは、利用者からの要望を受けて、令和８年度にエアコンが設置されている。

【質問】今後の未設置施設への整備計画は。

【総務課長】スポットクーラーや工業用扇風機などを所有しているため、それらの備品を活用し、新たに整備しながら、今後も避難所の環境の良好な整備に努めてまいりたい。



エアコンが設置された農村環境改善センター



わたなべ　しんいちろう
渡辺　真一郎

動画はこちら

Q. AIの進捗をどのように捉えているか
A. AIの活用で業務の効率化が可能



【質問】人工知能時代への移行は激動の時代となる。変動に対応することが最優先事項では。

【総務課長】ＡＩの活用が進めば定型的な業務の負担が大幅に軽減されると想定する。

【質問】国が独自に開発した生成人工知能「源内」を実証実験し、２年で全国の組織に広げる意向。担当者を置いて変化を捉える必要があるのでは。

【総務課長】国からの情報は無い。現時点での専任の職員配置は難しい。

【質問】業務内容が大きく変われば、採用や人事についても今から準備が必要では。

【総務課長】人員の配置やＡＩの導入の準備をする。

Q. 地方創生人材支援制度の活用は
A. 検討していない

【質問】町にとっては有益な制度では。

【総務課長】地域おこし協力隊等他の制度と併せて検討する。

【質問】制度を利用した市町村の事例の情報は。

【総務課長】県内外の事例を調べ新たな事業の企画推進に有効と認識している。

【質問】技術系の職員の不足はないか。

【総務課長】業務に支障ない人員を確保している。

Q. 二瓶町政3年間の総括は
A. 未来を担う人材育成を最重視

【質問】もっとも努力した内容は。

【町長】学校の設備、環境の整備や猪苗代高校の存続対応、ラムサール条約の登録実現である。

【質問】うまくいかなかった点は。

【町長】箕輪スキー場の問題である。

【質問】ほかのスキー場も含めて設備に問題があるのでは。

【町長】民間の努力により連携しながら進行を図る。ゴンドラの建設は時期確定の段階ではない。

【質問】ガーナとの友好は財源を豊かにした後、進めるべきでは。

【町長】経済効果だけで友好都市を結ぶものではない。



猪苗代スキー場



ごとう　きみお
後藤　公男

動画はこちら

Q. 幼児、児童の交通事故防止対策は
A. 親子で交通安全教室を実施

【質問】こども園児の出欠の確認はどのように行われるのか。

【こども課長】保護者がアプリで連絡する。通園バス利用の場合は乗務員が名簿でチェックし、バス担当保育教諭に引き渡す。教諭が確認し、保護者のスマートフォンなどに登園の確認を通知する。

【質問】小中学生に対しての交通安全指導は。

【教育総務課長】警察署に依頼して実施する。

【質問】4月から自転車の青切符制度が施行されたが、具体的にどのように指導しているのか。

【教育総務課長】警察署員が講師となり、4月に小学1、2年生には学校周辺の道路での歩き方、横断の仕方を指導し、3から6年生、中学生には自転車のマナーを含めて交通安全全般の指導をしている。

【質問】部活動などの交通手段は。

【教育総務課長】原則として町のバスを利用している。

【質問】今年5月磐越自動車道で起きた部活動遠征中の事故で文科省、国交省から安全確保の通知があったが町ではどのような安全対策を取っているのか。

【教育総務課長】中体連などの大会は原則として町のバスを利用し、乗り切れない場合は、緑ナンバーの貸し切りバスを利用する。休日の練習試合等は各保護者で対応している。



こども園の交通安全のぼり旗

Q. ふくしまDCのメニューは
A. 桜周遊バスや町中ウォールアートなど

【質問】DC（デスティネーションキャンペーン）はJRグループと町が連携した大型観光キャンペーンだが、費用対効果はどの程度あったのか。

【商工観光課長】DCキャンペーン実行委員会負担金として43・8万円、猪苗代観光協会に業務委託として168万円を支出し、他に新聞広告、PRサービス品作成、ネット広告の経費がある。成果として4から6月の3ヶ月で7から8万人の集客があった。

【質問】猪苗代駅前の整備は。

【企画財務課長】ISホールディングスと連携していく。

【質問】猪苗代駅は町の玄関口で観光客も多く、障害者や高齢者に優しく子育てしやすい町として駅のバリアフリー化、エレベーターの設置が望まれるが、今後の取り組みは。

【企画財務課長】駅のバリアフリー化は住民の生活や誘客に重要である。町の第8次振興計画に盛り込めるよう検討する。



エレベーター設置が望まれる猪苗代駅



たきた　かつあき
瀧田　勝昭

動画はこちら

Q. 猪苗代駅の利用状況は
A. 1日の乗降数は約650名（定期券除）

【質問】猪苗代駅付近の状況を町はどう捉えているのか。

【企画財務課長】現在、空き家やシャッターが閉まっているお店なども多く、市街地として空洞化が進み、商店の休廃業による商店街のにぎわいの低下が目立ってきている。観光のまち猪苗代の玄関口としては、若干寂しいと思っており、危機感を感じている。



昭和40年代の駅前の風景

【質問】JR東日本と猪苗代町との直接対話は。

【町長】駅前の整備は長い時間がたっても一向に進まない問題だ。JRの責任ある立場の人には面会できなかった。今年からJR福島事業本部長が郡山駅長になり直接対話ができ、土砂崩れの件も磐梯町、北塩原村と要望した。町所有地の有効活用、駅舎にエレベーター設置で利便性が図れる。とにかく、関係機関にはこれからはこれまで以上に何度も何度も足を運んで、実現できるように頑張りたい。

Q. 観光支援事業は
A. 地域活性化起業人を3名委嘱

【質問】人が集まる場所の人、物、金の支援は。

【町長】実行委員会の要請により職員の派遣、町備品の貸出を行っている。ただ、各商店飲食店の皆さんが機会を捉えて、少しでも儲かるかを、一緒に考えていただく機会が足りない。町は丁寧に説明をして、人の流れができるから、商売に生かしてくださいと、結果、町全体もにぎやかになるし、盛り上がるのかなと思っている。実行委員会なりに、周知し、協力を呼び掛けたいと思う。

【質問】観光協会がDMOを取得したことで、観光産業のリーダーシップを取れるのか。自主財源は。

【商工観光課長】観光協会は会費のほか、町からの委託費の手数料、公益補助金と誘客補助金を観光課所管で支出をしている。公益は、観光案内に対応する職員の人件費で、誘客事業は、DCも含めた観光誘客の補助金である。補助金が大きくなっている。



ながとも　ひろむ
長友　海夢

Q. 猪苗代花火大会の来場者数は
A. 開始当初から１万人程度で推移

動画はこちら

【質問】花火大会の総事業費、財源構成は。

【商工観光課長】令和７年度の総事業費は１６１８万３千円。財源は町補助金74％、協賛金21％、その他５％。平成23年度に比べ、町補助金は６００万円から１２００万円に倍増。協賛金は７３２万８千円から３４２万円に減少。

【質問】協賛金確保に向けた働きかけは。

【商工観光課長】協賛募集の発信や事業者への働きかけ不足を課題と認識し、募集の在り方は幹事会・実行委員会で検討いただきたい。

【質問】協賛額に応じた特典の充実は。

【商工観光課長】協賛の魅力を高める仕組みが重要と認識している。特別観覧席に加え、協賛額に応じた特典を実行委員会で検討したい。

【質問】花火大会を町内の周遊や消費につなげる施策は。

【商工観光課長】大会前後の周遊や滞在を促す仕組みが重要と認識している。町内の消費拡大と地域経済の活性化に向け、実行委員会等と連携して取り組む。



いなわしろ花火大会２０２６

Q. 地域みらい留学生の目標入学者数は
A. 10～15名程度

【質問】卒業後も猪苗代町とのつながりを継続する施策は。

【教育総務課長】探究活動を通じ町の魅力を感じてもらい、卒業後の町内就職や将来的なUターンにつなげたい。地域プロジェクトマネジャーを配置し、コーディネートを行っている。

【質問】地域プロジェクトマネジャーの業務内容は。

【教育総務課長】留学生の生活支援や継続的な留学生の確保、卒業後の町内定住・就職支援、人材育成などを担っている。

Q. 空き町営住宅のお試し住宅への活用は
A. 町設住宅での整備を検討

【質問】移住の手順を示す手引書の整備は。

【商工観光課長】既存のパンフレットで概ね対応しているが、手続の流れをより分かりやすく示す工夫を検討したい。

【質問】仕事と暮らしを一体的に体験できる移住支援は。

【商工観光課長】県事業や先進事例の情報を収集し、連携の可能性を検討したい。



やまうち　こうじ
山内　浩二

動画はこちら

Q. 子ども屋内遊び場整備は
A. 既存の施設を検討する

【質問】屋内遊び場の重要性は。

【保健福祉課長】天候に左右されず子供が安心して遊ぶ事ができる場で、保護者同士の交流や情報交換としても重要な役割を果たす場である。

【質問】遊び場の役割は。

【保健福祉課長】子育て負担感や孤立感の軽減、さらに健全な育成、成長を地域全体で支える環境づくりである。

【質問】県の専門機関からの情報収集は。

【保健福祉課長】現在新たな施設整備の予定がない為、情報収集は行っていない。



現在の猪苗代町児童館

【質問】町外屋内遊び場利用補助金交付の検討は。

【保健福祉課長】新たに創設する検討はしていない。

【質問】町所有施設で遊べる屋内整備を要望しますがお考えは。

【町長】子育て世代のニーズを把握しながら、既存の施設や地域の遊び場をうまく活用し子供達が安心して過ごせる環境づくりを目指したいと考えている。

Q. 公有財産の状況は
A. 減らす方向で対応する

【質問】旧会津バス寄宿舎事務所と除雪機械格納庫を取得して何年か。

【企画財務課長】平成25年に売買契約を締結し、12年経過している。

【質問】現在までの維持管理費用は。

【企画財務課長】土地を取得費用と廃材撤去工事、倉庫解体工事建物火災保険等を含めて累計で約３４０万円の維持費となっている。

【質問】取得後の利用計画は。

【企画財務課長】駅前再整備検討委員会を設置、更に再整備基本計画、公共施設等総合管理計画、個別施設計画と取り組んできた。

【質問】今後の計画対応は。

【企画財務課長】解体をしていく方向性で計画をしている。また、猪苗代駅前再整備検討会を開催し計画の見直しをして今後進めていく。



旧会津バス寄宿舎の現況

Q. 企業誘致の活動は
A. 現在、結果は見えない

【質問】現在の活動体制は。

【商工観光課長】現在１名体制。関係機関との連携を図り、情報発信と誘致活動を展開している。

【質問】誘致計画は。

【商工観光課長】過疎地域持続的発展計画で取り組む。

【質問】土地建物情報案内は。

【商工観光課長】町企業立地パンフレットで案内をしているが、今後内容見直し検討を行い発信する。

【質問】経過報告打ち合わせは。

【商工観光課長】企業関係機関との協議、打ち合わせを行って進めている。

委員会レポート

総務文教常任委員会

地域おこし協力隊及び山村留学

【概　要】

〜秋田県東成瀬村〜

地域おこし協力隊の受け入れ数が、全国的にみても顕著である。本町と同じ形態の会計年度任用職員3名と、この他に村が東成瀬村テックソリューションズ㈱と委託契約し、社員が地域おこし協力隊として従事している。民間連携隊員36名で、デジタル化を伴う地方創生や担当課ごとの課題に取り組んでいる。

また、令和3年度からの採用総数が１００名を超え、普通交付税が増額となるなど、経済効果をもたらしている。

〜岩手県葛巻町〜

岩手県立葛巻高等学校は、町内唯一の高校であり、地域で高校教育を継続するため「くずまき山村留学」を開始した。本年で12年目を迎え、入学者は通算１００名を超えている。

中学校は3校あり、葛巻高校と連携型中高一貫教育を実施しており、高校の先生が中学に出向き学習を指導することにより、継続的な学力向上につなげている。

また、支援として「通学補助」「英検受講料補助」「制服代購入補助」「共通テスト時町バスでの送迎」「寄宿舎の提供」を行っている。この他に高校の敷地内に生徒が無料で利用できる学習塾を開設し、自ら学び、自ら考える力を育んでいる。



くずまき山村留学寄宿舎

【意　見】

地域おこし協力隊制度を上手く活用し、ＩＴ人材を教育することで、首都圏からの若者の獲得、移住者の増加を図っている。企業として成長しているのは、地方創生の成功事例といえる。

葛巻町は、過疎地で町をどう存続させるか、重い命題を抱えた町長は苦悩したことと推測される。町を挙げ、教育環境を整え、選ばれる高校として留学生を受け入れていることは、町民にも誇れる町として実感できると感じた。

経済厚生常任委員会

地域活性化起業人の取組業務
保健と福祉を一体化したサポート

【概　要】

〜埼玉県神川町〜

神川町は、一般社団法人と地域活性化起業人に関する協定を締結し、民間の知見を活用した地域活性化やＤＸ推進に取り組んでいる。現在は、廃校を暫定活用し、スマートフォンやパソコンの困りごとに無料で相談を実施している。来場が難しい住民には公民館等への出張相談も行っている。子どもの下校後の居場所にもなっており、宿題や楽器の練習、土日祝日はイベント会場などにも利用され、地域コミュニティの拠点としても機能している。住民の要望と継続可能な事業とのバランスを図りながら今後の活用方法を検討している。

〜長野県軽井沢町〜

町民の健康増進と福祉向上を目的とした保健福祉複合施設「木もれ陽の里」を、平成19年に開館した。施設には健康増進、保健予防、高齢者生活支援、こども家庭支援などの機能があり、社会福祉協議会による介護福祉サービスも提供されている。温泉、運動指導は低料金で利用できる。65歳以上には年間5千円分の利用券を配布し、外出促進や介護予防にもつなげている。



埼玉県神川町での研修

【意　見】

本町においては、人口減少が進む中、新たな施設の整備を前提とするのではなく、既存の公共施設や廃校等を有効活用し、住民が気軽に集まり、健康づくりや福祉相談、地域交流などを行える環境を整えていくことが重要である。行政・民間・地域住民が連携し、将来にわたり持続可能な住民サービスを構築していく必要があると感じた。

広報広聴常任委員会

広報及び広聴

〜広報〜

７月31日に議会だより第１８３号を発行した。

７月１日にビッグパレットふくしまで行われた町村議会広報研修会へ参加した。その後のクリニックでは、町議会だより１８２号を講師の方より講評をいただいた。「表紙の写真（観音寺川の桜）が傾いて見えるため、水平・垂直にできるようＡＩ技術等を活用してみてはどうか。」「一般質問の見出しをもう少し大きくしても良いのではないか。」「臨時会の内容を要約しすぎではないか。」などの意見をいただいた。

〜広聴〜

今年度も猪苗代高校との一般会議の申し込みがあったため、当日の流れや役割分担を決定した。



町村議会広報研修会

一般会議の募集について

町民の希望に柔軟に対応するため、町民と議員の意見や情報の交換の場として一般会議を設置します。

詳細につきましては、議会事務局までお問い合わせください。

（TEL：0242-62-5666）

会津若松地方広域市町村圏整備組合

令和８年８月議会定例会

令和８年８月会津若松地方広域市町村圏整備組合議会定例会が令和８年８月５日（水曜日）に開議され、議長以下20名の議員、説明のための管理者である会津若松市長ほか副管理者、監査委員、会計管理者、及び職員が出席した。議事日程は、会議録署名議員の指名、会期の決定、休会の決定が行われた。

報告第３号　監査の結果報告について

報告第４号　令和７年度一般会計継続費精算報告書について

報告第５号　令和７年度水道用水供給事業会計継続費精算報告書について

報告第６号　令和７年度水道用水供給事業会計継続費繰越計算書について

報告第７号　令和７年度水道用水供給事業会計決算に基づく資金不足比率について

前記５件の報告理由説明が行われた。

２名の議員による一般質問が行われた。

議案第15号　行政財産使用料条例の一部を改正する条例

議案第16号　令和８年度一般会計補正予算（第１号）

議案第17号　令和８年度水道用水供給事業会計補正予算（第１号）

議案第18号　令和７年度水道用水供給事業剰余金の処分について

承認第２号　令和７年度一般会計歳入歳出決算の認定について

承認第３号　令和７年度水道用水供給事業会計決算の認定についての提案があり、２名の議員による総括質疑が行われた。その後、議案第15号ないし同第18号、承認第２号及び同第３号を各委員会に付託し、散会となった。

令和８年８月18日（火曜日）に再開され、会議録署名議員の指名を行い、総務消防委員会、環境衛生委員会、水道供給委員会から審査報告が行われ、議案第15号は、道路法関連の占用料の変更に伴うもの。議案第16号は、旧施設の調査、設計、解体工事を一体で実施するために必要な予算措置を講じたもの。その後、質疑、討論が行われ、審査報告のとおり、異議なしとされ、全ての案件が可決決定され、閉会した。



８月議会定例会

わたしたちの町
～ずっと住み続けたい 魅力あふれる町～



栗城（くりき）　湊（みなと）さん
（猪苗代中学校）

私が約十年暮らす中で「ずっと住み続けたい」と感じるのは、豊かな自然や農業、温かい人々がいるからだと実感しています。森林環境学習や農業体験を通し、地域の魅力や人口減少・耕作放棄地などの課題を知りました。修学旅行やこれまでの学びを経て、現在は地域の課題を解決し理想の町を実現するための「未来の猪苗代を創る」探究学習を3年生で進めています。

私は総合文化部部長として、磐梯まつりでの情報発信や地域の方々と連携した猪苗代湖の水草除去など、町を盛り上げる活動に取り組んできました。山や湖に囲まれた誇りある猪苗代の魅力をさらに発信し、誰も生活しやすく、誰もが訪れたくなる魅力あふれる町を目指して頑張っていきます。



総合文化部が協力したポスター

傍聴においで下さい

12月議会は
12月1日(火曜日)
開会予定です。

【一般質問予定日：7日(月)・8日(火)】

場所：猪苗代町役場３階　議場

※質問者・質問内容については１２月１日以降に町のホームページに掲載します。また右施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名
- 役場町民ホール
- 学びいな
- 和みいな
- カメリーナ
- 町立猪苗代病院
- 老人福祉センター
- まちのえきまるしめ

野口英世博士顕彰記念町内小学校体育祭



ゴールに向かって全力疾走

編集後記

猛暑や線状降水帯による集中豪雨など、自然災害が頻発化しています。備えは非常持出袋の準備と、ライフライン停止に一週間分の備蓄が基本です。また、ハザードマップ等で避難経路を事前に確認も必須です。さらに、災害時の行動は、「早めの避難」「安全な場所の選択」「無理な移動の回避」を守ります。災害は町の対策も必要ですが、やはり自分の身は自分で守る行動をとりたいです。▼議会改革特別委員会が設置されました。今後、議会から住民の皆様へ意見をお聞きします。議会に関心を持っていただくために議会だよりがあります。編集委員一同、議会の内容が伝わるように努めております。議会の在り方に対するご意見をお待ちしております。

瀧田　勝昭

広報広聴常任委員会（広報担当）

委員長　星野　あけみ
副委員長　長友　海夢
委員　大高　佐代美
委員　瀧田　勝昭
委員　五十嵐ミエ子
委員　鈴木　元

発行：福島県猪苗代町議会
編集：広報広聴常任委員会
〒969-3123 福島県耶麻郡猪苗代町字城南100
TEL.0242-62-5666